



報道発表資料  
令和6年8月23日  
国立国会図書館

令和6年度  
企画展示「ひろげて、まいて、あらわれる 絵巻の世界」開催

どなたでもご覧いただける、国立国会図書館所蔵の絵巻の展示会です

国立国会図書館東京本館において、10月1日（火）から11月9日（土）まで、国立国会図書館が所蔵する絵巻をテーマとした展示会「ひろげて、まいて、あらわれる 絵巻の世界」を開催します。利用者登録されていない方や、満18歳未満の方もご覧になれます。



会場：国立国会図書館東京本館 新館1階展示室

会期：令和6年10月1日（火）～11月9日（土）※日曜日、祝日、10月16日（水）を除く

時間：10:00～19:00（土曜日は17:00まで）

※国立国会図書館が所蔵する主に近世以降に作成された写し（模本）の展示会です。

貴重な一点物の資料ではありますが、重要文化財などの展示はありません。

※国立国会図書館関西館でも、11月15日（金）～29日（金）に開催します。

■ 展示会案内ホームページ <https://ndlsearch.ndl.go.jp/gallery/emaki>

■ 問合せ先 利用者サービス部 サービス企画課 展示企画係 03-3581-2331（代表）

■ 報道機関の方の問合せ先 総務部 総務課 広報係 03-3506-5103（直通）



## 展示概要

ひろげて、まいて、ひろげて、まいて——。それを繰り返してあらわれるのは、雅な王朝貴族の世界か、はたまた風変わりな姫君や、空を飛ぶ米俵が登場する世界か。いつの間にか、鬼や化け物が棲む異界へと引き込まれているかもしれません。

絵巻の多くは、人の手で写し、伝えられてきました。写す目的はさまざまで、有名な絵巻と同じものを所有したいと思う人もいれば、研鑽のために描き写す絵師もいたでしょう。絵師の腕や個性も相まって、実に多様な写し（模本）が生まれました。

当館が所蔵する絵巻の多くは、そうして写し、伝えられてきたものです。本展示では会期を3期に分け、毎回全面的な展示替えを行うことにより、当館が所蔵する絵巻のうち約60タイトルから、90以上の場面を展示します。

## 展示資料例 ※期間中に展示替えを行います。



『竹とり物語』[江戸前期] 写



『石山縁起』書写年不明



『百鬼夜行絵巻』[江戸中期] 写



『志貴山縁起』[江戸中期] 写

**その他の展示資料（一部）** 『源氏物語絵詞』和田正尚 模写 明治44(1911)、『伴大納言繪巻』書写年不明、『平治物語繪巻』住吉内記[ほか写][寛政頃]、『浦島太郎』[室町末期-江戸初期] 写、『春日権現験記』板橋貫雄 [写]、『付喪神繪』[江戸時代] 写、『伊吹とうし』[江戸前期] 写

## 関連講演会のご案内

企画展示の開催に関連し、講演会を開催します（事前申込制・申込み先着順 250名）

○日時・場所：10月26日（土）14:00～15:30 東京本館 新館講堂

○演題：絵巻鑑賞のイロハ

○講師：土屋貴裕氏（東京国立博物館 学芸研究部調査研究課絵画・彫刻室 室長）

○申込方法：展示会案内ホームページの申込みフォームからお申し込みください。